

鹿児島県 歴史・美術センター「黎明館」

2021-03-01 16:59:04

今年1月に鹿児島県を訪れた時のレポートです
本業のスーパーマーケットと「戊辰戦争」「明治維新」の研究と現地視察
宮崎から鹿児島県に向かうサービスエリア「加治木まんじゅう」「さつま揚げ」「黒豚天」「しんこ団子」が鹿児島県の名物だ



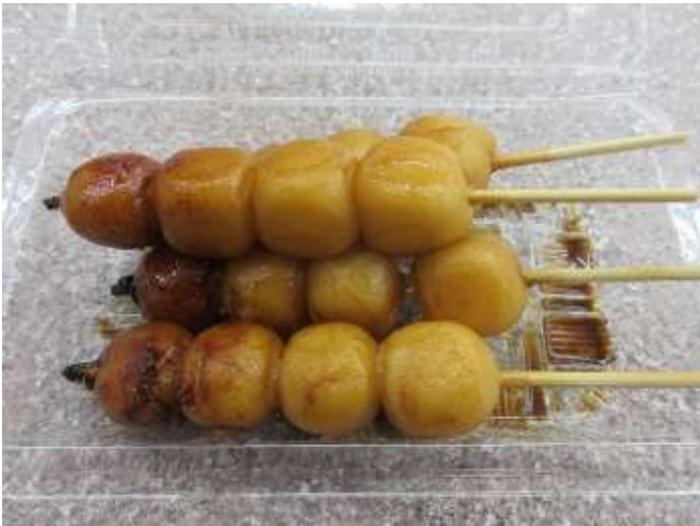
加治木まんじゅう だいたい味は想像できる



しんこ団子を買う



先だけが焦げていて香ばしく、食べてゆくに従いだんだんと食べやすくなる
帰りに店のおばちゃんに
「串の先だけを焦がす技術がスゴイ」と褒めると
「ダクトの吸い込みが強すぎて先だけ焦げてしまう」という
聞かなければよかった



鹿児島の有名人
「東郷平八郎」「五代友厚」「西郷従道」までは分かるが
右端は？になっている
「大山巖(いわお)」か「松方正義(まさよし)」？



「島津斉彬」と「西郷隆盛」

二人は蜜月の関係であった

久光に変わったとたん西郷は島流しにあう



「西郷隆盛」と「愛加那(あいかな)」

安政の大獄の際に幕名で奄美大島に潜居していた時の妻

子どもは長男でありながら「菊次郎」後の京都市長

当時は現地妻を鹿児島に連れ帰ることはできなかった

愛加那が気を使い、鹿児島で生まれた子供に長男の名前をつけるように勧めた

鹿児島の子供は「寅太郎」

後に陸軍大佐、習志野捕虜収容所長

当時はやったスペイン風邪による肺炎で亡くなる



「小松帯刀」と「篤姫」

小松帯刀は篤姫に好意を持っていた？



「西郷どん」 林真理子著 角川文庫



古い言い方が女流作家の文章は理屈が少なく読みやすい

新築された「御楼門(ごろうもん)」の裏側



周りに石造りの排水溝を配した



鹿児島県 歴史・美術センター 黎明館(れいめいかん)

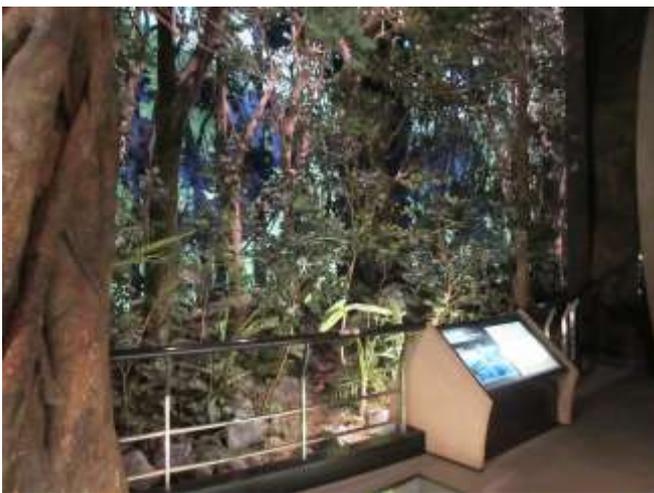


篤姫(天璋院)の像

島津斉彬の幼女で、徳川家定に嫁いだ 江戸城無血開城にも貢献した



入口の森



シラス台地に建つ山城



段々畑のように建物が建つ



鹿児島独特の家のつくり



志布志の内城

国指定史跡志布志城跡

内城跡

National Historic Site Site of Shibusshi Castle

Site of Uchi Castle

志布志には内城、長尾城、高城、新城などの中世山城があります。内城はその中心的な役割を果たしてきた城郭でした。城主も教仁院氏から榊井、島津、新納氏等と交代し、永禄5（1562）年には、野付氏が大隅経略の拠城となりました。天正5（1577）年になって野付氏は退去し、かわって島津氏が地直面を築きました。徳川幕府までは、本丸と兵衛場といわれる輪郭のみで、戦国時代に現在みられるような大規模な城郭になったと考えられています。城壁は尾根を横断する五つの空堀と、これに直角に交わり尾根の頂を連す二つの空堀で区切られた三つの曲輪群を主としています。且い一つの空堀の外端には土塔があり真輪を防衛しています。この築造は、当城が最も活気を呈した戦国後期の天正2（1575）年正月頃、野付氏方の集衆が最盛だった状況を想定し復元したものです。なお、空堀等は想像復元です。

In Shibusshi, Uchi, Misasa, Tama and Shin castles were built in the early-mid centuries of Edo. For a while, Uchi played a central role. The lord of the castle changed from the Kyushu's the Arai to the Shibusshi's lord due to the Nanto clan. In 1562, the Kyushu's clan took over the castle and made it the headquarters for governing the Nanto region. In 1577, after the Kyushu's clan retreated from the Shimoda, the latter clan began its rule.

外城は 100 以上あった



イギリス留学組 イギリスでは先に留学していた長州の留学生と会っている



フランシスコ・ザビエル ザビエルは鹿児島から日本に上陸している



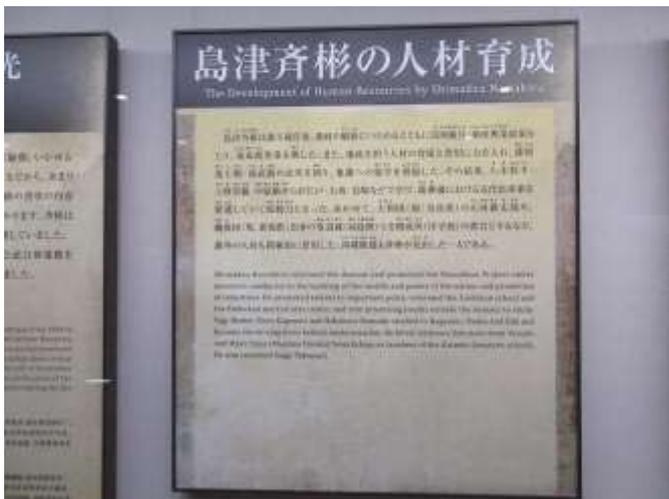
幕末から明治に活躍した人々

島津斉彬(1809年～1858年)

島津氏28代当主 薩摩藩11代藩主



富国強兵、殖産興業政策をとり、集成館事業を興した
西郷隆盛ら幕末に活躍する人材を育てた



島津久光(1817年～1887年)

島津斉興(母お由羅)の子

西郷とはそりが合わなかった



徳川家定(1824年～1858年 34歳)に嫁いだ篤姫だが、結婚生活はわずか1年7カ月
 紀州徳川から入った家茂(いえもち 1846年～1866年 20歳)が14代将軍となる
 このころの将軍は早死にしている
 篤姫はあくまでも徳川家の人間として、和宮と共に江戸総攻撃回避と徳川家の存続に尽力した



徳川慶喜(1837年～1913年)
 水戸家⇒一橋家⇒将軍家⇒慶喜家
 15代将軍 最後の江戸幕府将軍、征夷大將軍
 実弟の「徳川昭武」をパリ万博に送る
 そこに同行したのが「渋沢栄一」であった
 1867年、大政奉還
 渋沢はパリでその事態を知った



西郷隆盛(1828年～1877年 49歳)
 鹿児島県鍛冶屋町の下級武士の長男
 次男「吉次郎」(北越戦争・長岡市で戦死)
 三男「従道」は明治政府重鎮で「隆盛」と戦う
 四男「小兵衛」は西南戦争で政府軍と戦い戦死
 「大山巖」は従弟であるが西南戦争では隆盛と戦う
 まるで戦国時代だ
 1877年、「城山の戦い」で「もう、こらでよか」と言って自害



大久保利通(1830年～1878年 48歳)
 西郷隆盛、木戸孝允、大久保利通は「明治の三傑」と称された
 幼少期に鍛冶屋町に移住 西郷と共に学問を学ぶ
 明治政府では岩倉使節団の副使として外遊
 西郷隆盛、板垣退助ら「征韓論」「警察法」と対立し、西郷らを失脚させる
 西南戦争では京都にて政府軍を指揮した

1878年「紀尾井町の変」で暗殺される
西郷の死の翌年であった



黒田清隆(1840年～1900年 60歳)
薩摩藩士、第2代内閣総理大臣
北越戦争では長岡藩を降伏させた
「河合継之助」を政府に登用しようと書簡を送ったが届かなかった
函館戦争では、敵を五稜郭に追い詰め「榎本武揚」を降伏させた
戦後、榎本を助命させようと、丸坊主になって嘆願し榎本は釈放された
西南戦争で政府軍として西郷に立ち向かった



山本権兵衛(1852年～1933年)
薩摩藩士、政治家、海軍大将
1898年、西郷従道の推薦で47歳で山縣内閣の海相に就任
国内の製鉄所、造船所を整備し、燃料は最高級の英国炭を使用
高木の提案により、艦上の食事にカレーライスや肉じゃがなど栄養価の高い食事を奨励

海軍では「脚気」はほぼ皆無であった

陸軍の「森鷗外」は細菌説を解きそれを受け入れなかった



東郷平八郎(1848年～1934年)

鹿児島市鍛冶屋町出身 イギリス留学組 海軍大将

戊辰戦争では春日丸に乗り込み、新潟、函館、宮古湾海戦を戦う

日露戦争では、旗艦「三笠」に乗り込み、ロシアバルチック艦隊に壊滅的な被害を与えた

世界中にそのニュースが広がり、トルコでは「トーゴー通り」や子供に「トーゴー」と名付ける者もいた



高木兼寛(かねひろ 1849年～1920年)

薩摩藩郷士 現宮崎市高岡町に生まれる 海軍軍旗総監

脚気の撲滅に尽力し「ビタミンの父」と呼ばれる

脚気は伝染病ではなく、ビタミンB1不足

「海軍カレー」を給食に取り入れ現在に至る



松方正義(1835年～1924年)
日本の武士、政治家
日本銀行を設立、金本位制度を確立
内閣総理大臣を2期務める



以上、鹿児島の子な人物を紹介した
これには時間がかかるが、自分の学習と頭の整理のため

天文館通りのジオラマ

後日、天文館に行ったが、左側の坂口本店の地下はカフェになっている



大正時代の賑わい



大正の味目天文館に活動写真館(映画館)ができ、街がにぎやかにになるきっかけとなった
映画館やカフェに向かう人々で通りは溢れていた
人々は天文館を「九州一の盛り場」
浅草にならって「鹿児島のリック街」と自慢した



今回は、西南戦争と西郷隆盛

西南戦争時、島津久光はどこで、何をしていたかレポートします

いいね 4

西郷洞窟と旧島津玉里邸庭園

2021-03-03 17:02:12

「江藤新平」 明治政府の役人

江藤は役人の汚職に厳しく、山縣有朋の関わった「山城屋事件」 井上薫が関わった「尾去沢銅山事件」などを厳しく追及 1873 年、西郷隆盛、板垣退助、後藤象二郎とともに下野後に「佐賀の乱」引き起こした人物

西南戦争(西南の役)

1877 年 1 月～1877 年 9 月 熊本県、宮崎県、大分県、鹿児島県において、西郷隆盛を盟主して起こった士族による武力反乱 国内最後の内戦である

西郷洞窟



西郷隆盛百年記念座像



西郷洞窟



人工的な洞窟 中は立ち入り禁止



おはんらにやった命

1877年9月24日、午後4時政府軍の城山総攻撃が始まる
城山にたてこもった薩摩兵士は300余、政府軍は約4万



薩摩軍がつくった岩

テロリストの岩のようだ

薩摩藩はどう動いたのか？



西郷は5日間過ごした洞窟を出た

桐野利秋、別府晋介、村田新八、池上四郎といった私学校の幹部も一緒であった



「激闘田原坂秘録」隣の土産物屋で買った本



近代兵器との差が勝敗を決めた

7カ月渡る西南の役に幕を閉じた 以後反乱はなくなった

大砲は劣るが、扱じゃ負けない(ふるさと館展示) それでは勝てない



西郷隆盛終焉の地



西郷は洞窟で亡くなっているのではない

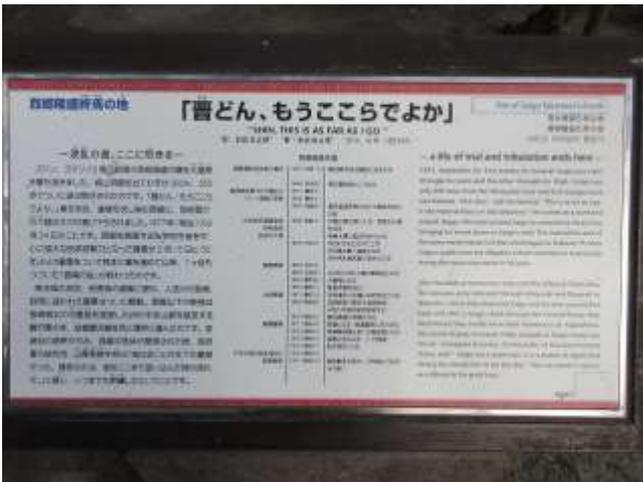


洞窟から歩いてすぐの場所



晋どん、もうこらでよか

城山洞窟を出てわずか300m、650歩で2発の弾丸が西郷の大腿部を打ち抜いた
皇居を伏し拝む西郷に、別府晋介の太刀が振り下ろされた



祇園之洲公園

西南の役官軍戦没者慰霊塔



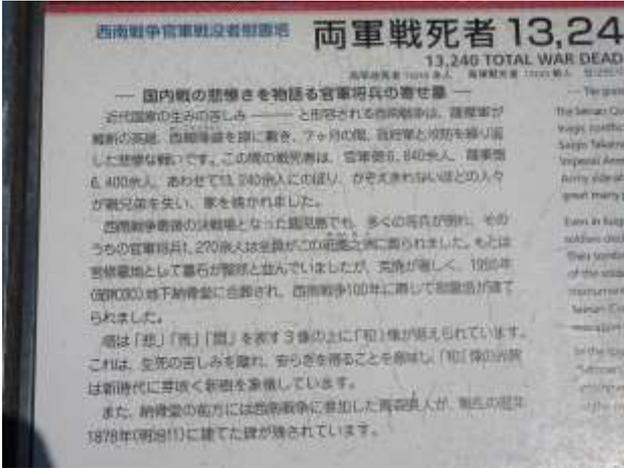
西南戦争の官軍の慰霊碑



両軍戦死者 13,240 余人



説明文の最後に
 「納骨堂の前方には西南戦争に参加した青森県人が、戦乱の翌年(1878年)に建てた碑が残されている」とある



なぜ青森県人？
 近くの人に聞いてみたが、たぶんこの碑であろう



古いものであまり読めない



なぜ青森県人が多かったのか？

「桐野利秋」と「山川浩」

桐野利秋(中村半次郎、人切り半次郎 1839年～1877年)

薩摩出身の武士、陸軍軍人

戊辰戦争の会津若松攻略では、伊地知正治、板垣退助、山縣有朋と共に戦う

会津藩降伏後、官軍を代表して城の受け取り役を務めた

半次郎は、人々のあまりの悲惨さに「涙を禁じえなかった」と語っている

半次郎は城中の会津藩士に親身になって接したという

根っからの武士であった

後に、松平容保から金銀造りの大小の宝刀が贈られた

西南の役では西郷と共に戦い弾丸を額に受けて死亡

山川浩(1845年～1898年)

父は会津藩国家老山川重固、母は会津藩士西郷近登之の娘

妹は「大山捨松(すてまつ)」「(大山巖の妻) 会津と薩摩の結婚が話題になった

会津戦争後は、会津藩が転封された斗南藩(青森県むつ市)大参事に就いた

西南戦争では「選抜隊」を率いて熊本城に入城(「抜刀隊」は田原坂の戦いで組織された白兵戦部隊)

「薩摩人 みよや東の丈夫(ますらお)が 提げ佩く太刀の 利(と)きか鈍きか」という歌を詠んでいる

内容は「薩摩の武士たちよ 東から来た我々会津の武士が振るう刀が、鈍いか、鋭いかよく見よ」という意味

西南の役は「会津藩名誉回復の戦争」でもあった *生活が困窮する斗南藩から警察官の応募が多かったのではないかと 西郷は士族を守ろうとしたが、明治政府は一般人から警察官を募集した

武士の働き場所が無くなってことが士族の反乱に繋がった

旧島津藩玉里邸

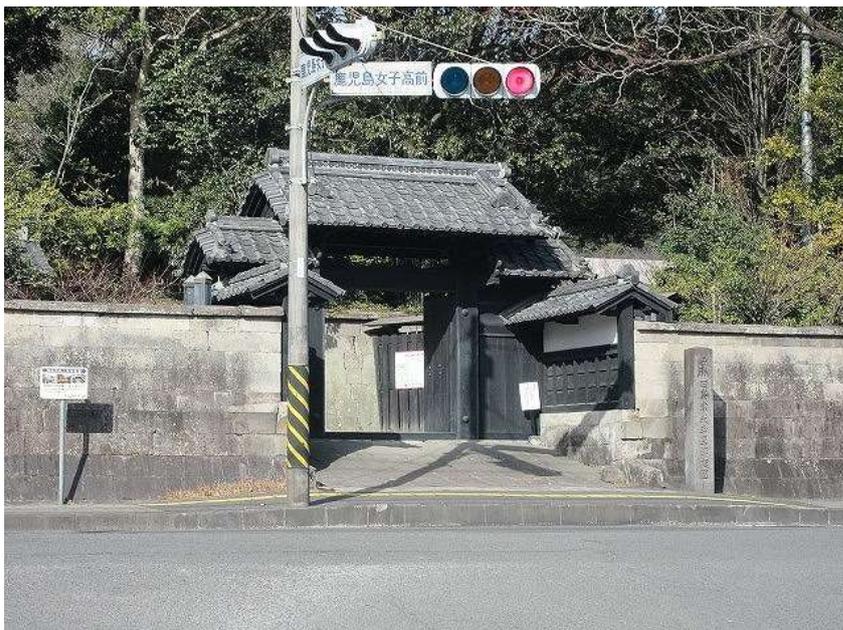
歴史・美術センター 黎明館の学芸員に

「西南戦争中に島津久光はどこで、何をしていたのか？」尋ねる

これは前から疑問に思っていたので聞こうと思っていた

答えは「久光は中立を守り、玉里の別邸に居た」という

早速、その別邸に連れと車で向かう



目的を持って訪ねないと分からない場所

斉彬公が 1835 年に造営した公園



案内図



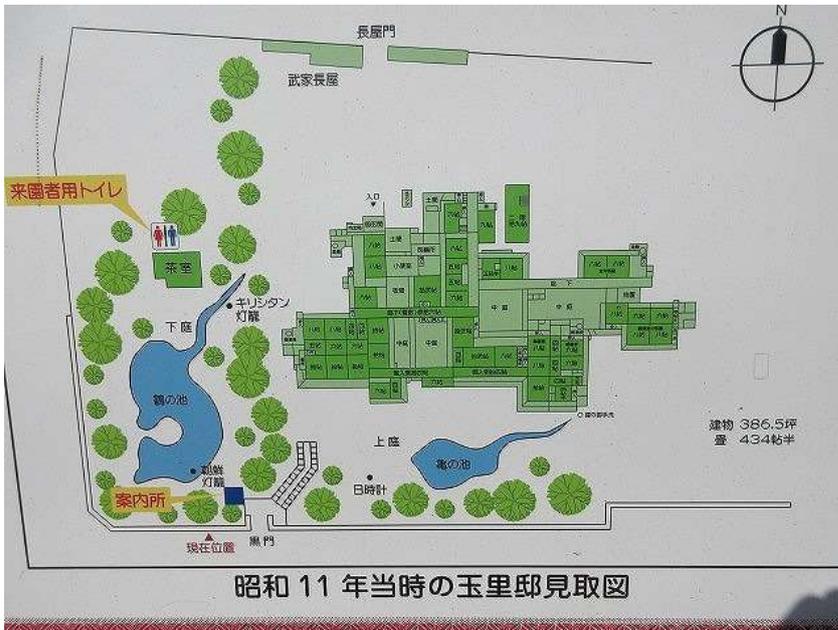
昭和 11 年当時の玉里邸見取図

玉里邸は西南戦争で焼失したが久光が再建

やはり久光の別邸も政府軍に攻撃されていた

太平洋戦争で再び焼失 右の屋敷部分は学校(市立鹿児島女子高)になっている

左が「鶴の池」、右が「亀に池」(ここは見学できない)



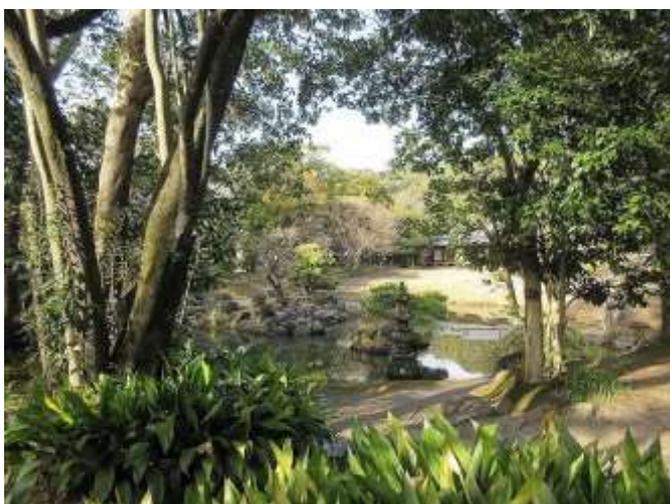
入口の左に案内所

スタッフは駐在しているが、観光客は殆ど来ないという

時々、ここで茶会が開かれるらしい



歴史ある公園
絵になる風景



鶴の池 池をぐるっと回る回遊式の公園



珍しい灯籠がいくつもある



奥が現在に残る茶室



茶室は少し高い場所に建てられている



建物は当時のまま(雨戸を外した状態)



壁の構造



廊下の角板の細工



古い井戸



ここから水が出ていた



クリシタン灯籠

聞かないと分からない小さな灯籠

斉彬没後、幼女の「勝姫」が玉里邸に居住していた

スタッフの説明によると、小さな灯籠だが毎朝勝姫がお参りに来ていたという



字か図形があるが意味が分からない

長方形の上に丸は、キリスト教の影響を確かに受けている



アーチ状の中に全身を衣で包む姿



足元の砂を取り払うとつま先は外を向いている



どこから見ても絵になる庭園だ



これは朝鮮灯籠



右側に何やら人工的な岩が



中に祠があるという



ゆったりとした時間が流れる ここは交通の便は悪いが観光コースに入れた方がいい

鹿児島中央駅構内の「城山ストア」

2021-03-05 17:05:43

鹿児島中央駅ビル 観覧車が特徴



駅前のモニュメント「若き薩摩の群像」



薩摩藩英国留学生 薩摩藩は鎖国の禁を犯し、1865年藩士十七名の留学生を英国に派遣した。学問や技術を修め、帰国後は日本の原動力となり各分野で不滅の業績を残した。



枝にキラキラ光る銀色の短冊をつけ鳥が来ないようにしている



駅前のイオン 以前はダイエーであった



駅中の城山ストア

創業 1976 年 鹿児島市内にスーパーマーケット 4 店舗展開するローカルチェーン

他に、しろやま弁当 3 店舗、セントラルキッチン、船舶事業部 コンセプトは「食にこだわり、豊かなまちを創造する」 2010 年 4 月 22 日 アミュプラザ店オープン



弁当、丼売場はこのボリューム コロナの影響で観光客は減っているようだが、開店から10年を経ているため固定客をしっかりと確保しているようだ



手の込んだ弁当 九州の弁当は豪華で安い



かつ丼は大と小の2SKU 小かつ丼は 278 円 大 418 円(とんかつ 1 枚使用)



とり天温玉丼 420円 店長推奨品 丁寧につくられている



おにぎり 駅中だけあっておにぎりの需要は高そうだ



トレー入りのインスタ製造おにぎり



五色豆ごはん 192 円とカツオ飯 195 円 隣の白ごはんより安い



煮しめ 280 円 鹿児島島の煮しめはだしの味が強くおでんのような



鮮魚売場の鍋セット 398 円 魚介類がたっぷり入っている



伊勢海老 1500 円も品揃え 水槽を置いたほうがロスが少ないように思う



アンコウ鍋 780 円



かつおのハラス 398 円 四国、九州でよく売られている商品 カツオの腹の部分



黒毛和牛



さつまブランド豚



鶏のタタキ盛合せ 328 円

九州は鶏肉をタタキで食べる習慣がある



鶏むね肉のタタキ(お刺身用)560 円 これで正解



さつま揚げ

値引きが多いのは価格設定の問題かな



極太焼きそば 450円 地元ブランドのようだ



出水みかん 480円



桜島小みかん 350 円

POPの字が上手



サイズは小さいが個数が多い 野生に近いほど種が多くなる



高菜おにぎり



トレー入りのご飯類に比べておにぎりは少し高め



カツオ飯

高知のカツオ飯は有名だが、鹿児島にも



混ぜご飯だと思うが大きなカツオの塊がゴロゴロ入っている



インスタ製造のいりどうふ 177円



家庭の味で懐かしい



さつま揚げ棒天



少し甘めだが魚の味が濃い



花瀬のかおり



野菜の刻み醤油漬け



福ユタカ納豆



地元鹿児島メーカー

中粒で大豆の味がしっかりする



こだわり品 奥にカルディ

品名	納豆	内容量	100g
原料名	大豆(九州産、遺伝子組み換えでない)、納豆菌、タレ(砂糖類(果糖ぶどう糖液糖、砂糖)、たん白加水分解物、食塩、しょうゆ、醸造酢、醤油エキス、酒粕、調味料(アミノ酸等)、ビタミンB1)、(一部に小麦・大豆さばを含む)	賞味期限	表面に記載
		保存方法	10℃以下で保存してください
		製造者	株式会社 しか屋 〒891-0431 鹿児島県市谷山港2丁目2-16 フリーダイヤル 090-2211-0100



黒棒52円、ゆず棒58円 サクサクとした食感



南国の素朴な味



島どーナつ 298円 島どーナつと間違えて買ってしまったが、サーターアンダギーのよう



イケダパン シンコム3号

ローカルのパンメーカーの商品は買うようにしている



宮崎、大分、門司、鹿児島の中スーパーマーケットを見て

- ・観光客も多いので地域性の高い品揃えが目立つ
 - ・惣菜売場は主通路側にレイアウトし、ローカル色の強い米飯、惣菜に注力している
 - ・惣菜を含めカットフルーツ、スイーツ、パンなど即食系の品揃えを増やしている
 - ・生鮮食品は最低限の品揃えと在庫量で鮮度維持を行っている
 - ・菓子類は地域性が高いのでギフト用を含め品揃えが豊富
 - ・カルディと同じように常に新商品を導入している
 - ・価格訴求より価値訴求を優先している
 - * 駅ビルには地域の最新情報が集まる
- 食品も流行を先取りした商品を客は期待しているように思える

鹿児島県のガストロノミー「うなぎ」「黒豚」

2021-03-07 17:02:52

鹿児島県のガストロノミーと言えば「うなぎ」と「黒豚」

私はあまり外食はせず、スーパーマーケットの惣菜ばかりを食べているが、名物料理は食べておきたい

九州のある食品問屋の部長から紹介された、うなぎ屋ととんかつ屋を紹介します

山の中にあるうなぎ屋



歩いては来られない場所



「美鶴」

鹿児島市下福元町3573-4



予約なしで昼に訪問 コロナ対策ですぐには店内に入れない



入口で注文する仕組みになっている



メニューは、うな重 3000 円、うな丼 3000 円、蒲焼 2700 円のみ うな重と、うな丼を注文



できるだけ外の小屋で待たされる
電話で時間を予約しておけばすぐに店内に入れる



カウンター内は撮影禁止
天井まで届きそうなきぎの入ったザルの上から水が流れている
紹介できないのが残念
その活うなぎを職人が目の前でさばいて焼いている



これがうな重

1杯(尾)分だがうなぎは頭はついていない「半助(頭)」はどう処分しているのか
尻尾も切られている



肝を煮たもの



肝吸い



関東のように蒸し工程はないが、身はフワフワで柔らかい



うなぎは脂が多く、周りを脂でコーティングされるため強火で焼いても焦げることはない
皮の部分は少し弾力がある



連れのうなぎ うなぎ重とうなぎの違いは上に載っているか、別に盛られているかの違いだけ
たぶんうなぎ重は前は重箱に入れられていたと思う



EMPTY DISHES

このグレードで税込み 3000 円は安い

さすがうなぎの産地

メニューを広げず単品に絞っていることと、活うなぎを使っているため食材のロスがない

これが安く提供できる理由か

1 人前に肝吸いと肝煮がつくということは肝の数が合わない

テイクアウト需要が高いかも



夕食は人気のとんかつ屋「竹亭」

ここも部長の紹介の店

評判のとんかつ屋であるため 5 時開店を駐車場で待つ

駐車場は満車



TAKE OUT のポスター



スペシャル食事券 ロースとんかつ、メンチカツ、鶏唐揚げの盛合せが 1400 円
安い



メニュー とんかつ定食が 900 円と安い メニューはこれだけ



回転しても、駐車場は満車だったが店内の客は少ない



小上がりも無人

駐車場で待機している客は「テイクアウト」の客だった カウンター内を見ていると、たっぶりなキャベツの上にとんかつを盛りけている その数は 15 パックほど コロナで外食は苦戦しているが、ここはうまくテイクアウト需要を取り込んだ



せっかくなので「ダブルかつ定食」を注文 「ロースかつとひれかつ」の相盛りをイメージしていたが、大きなロースかつ1枚であった



200g以上もありそうなボリューム



少しピンク色に揚がっている 黒豚ではないが味のよい豚肉を使っている
肉の味を楽しむためソースはあまりかけなかった



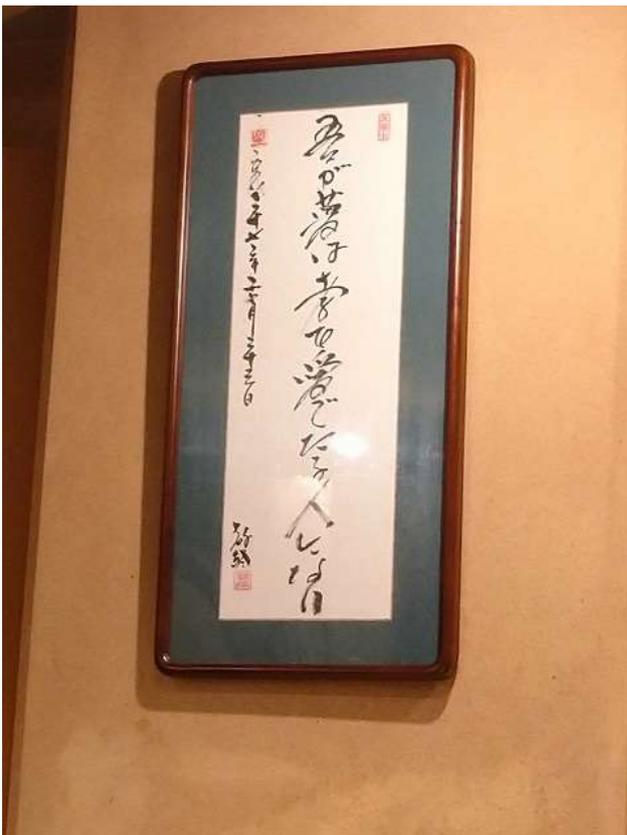
ここも EMPITY DISHES



今日のはうなぎととんかつの大名メニューであった
後日、ホテルの近くの「吾愛人」にお伺いする
ここも観光客に人気の店であるが客は少ない
どうしても黒豚を食べて帰らないと



店名の由来らしい



旅も終盤に近づき食欲があまりない



「首折れさば刺身」550 円と「六白黒豚しゃぶ鍋 1 人前」1550 円とハイボールを注文



「六白豚のしゃぶしゃぶ持ち帰り用」 1200 円



首折れさばとは、屋久島で水揚げされたごまサバの現地名

鮮度を維持するため、漁獲後すぐに首を折って血抜きすることからその名前がつけられている



軽く酢で絞めてある



しゃぶしゃぶ鍋 六白黒豚は、体毛は黒色だが、体の六ヶ所が白いことから「六白」となった



タジン鍋のような鍋 蓋の穴が手前を向いていることは、沸騰したことが分かるようにしている



ロース部分とバラ部分 あっさり部分とこってり部分



野菜



まず野菜に火を入れてからしゃぶしゃぶをいただく 脂が甘くあっさりとしているが、うま味強い
思わず一気に食べてしまった



締めは雑炊



ここでも EMPTY DISHES



ホテルの朝食

私はホテルの朝食はあまり食べない

一回だけは研究のためいただく



郷土色の強い朝食だ



鶏飯



メカリの南蛮漬け



さつま揚げと鮭の煮物



さつまい

肉類が入っているのがさつまい



EMPTY DISHES



鹿児島「ザビエル公園」と「ザビエル教会」

2021-03-09 19:11:41

ここは前にも特集しましたが再訪しました
鹿児島祇園之洲公園からの景色



桜島の噴火が続いている



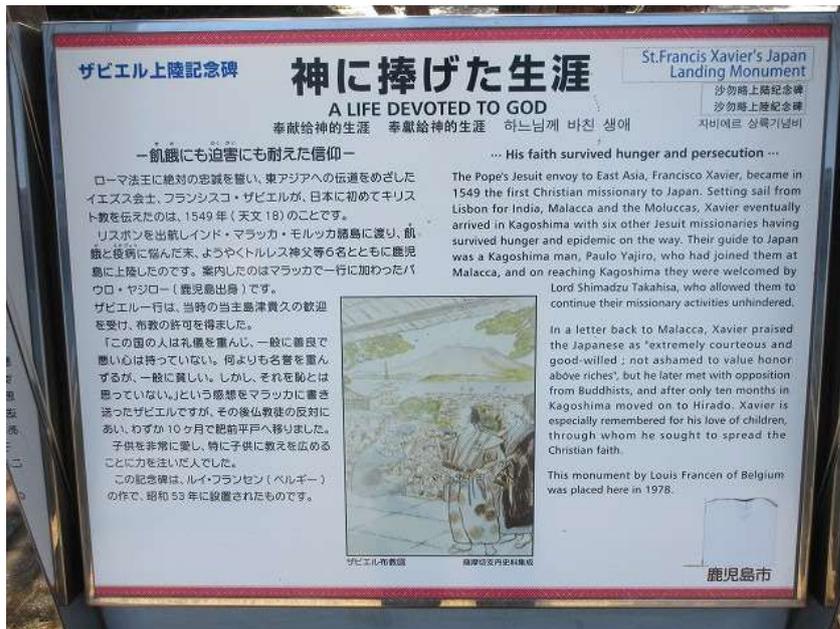
文部省唱歌「我は海の子」の碑
作詞、作曲は不詳 池上日出夫編曲



フランシスコ・ザビエルの像
ここを訪れるのは二回目
キリスト教徒ではないが何か惹かれるものがある
不思議なことが3回起きる



ザビエルの経歴 神に捧げた生涯
1549年、ザビエルの上陸地点



宙に浮いているザビエル
なぜ？



壁の彫刻



島津の家紋



人の後ろにザビエル



帆船



ハミエル家の家紋



不思議な体験

ザビエルの心臓の鼓動？ 像の下に入り込むと、私の175cmの伸長の肩の部分に足がピッタリ乗る しばらくすると心臓の鼓動のようなものを感じる たぶん自分の脈が像に反響しているのかも知れない 設計者の計算された効果かも知れない



もう一つ

偶然だが昇る太陽がザビエル像の上にピタッと重なった



もう一枚

日が昇るにつれて景色が変わる

ここを訪れたのは1月15日の午前中

ザビエルの像に太陽が昇る一瞬であった

不思議な写真が撮れた



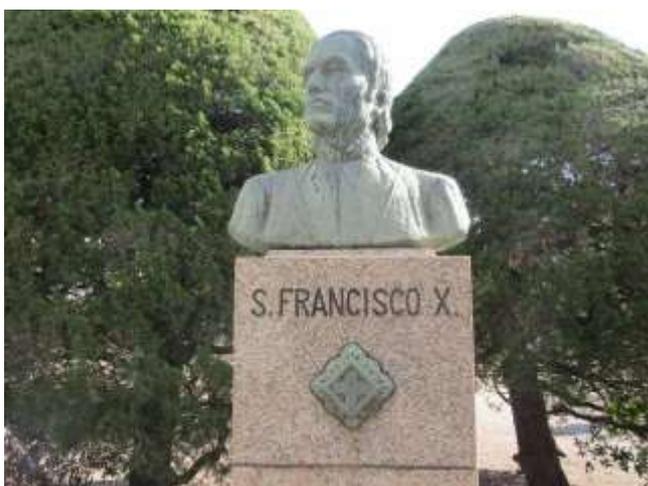
市内の「キリスト教伝来の地」へ



2代前の教会の入口



ザビエルの胸像



裏から見ると奥にザビエル教会が見える



3人の像



ヤジロウ

マラッカ(マレーシア)からザビエルを案内した人物



ベルナルド

日本人初のヨーロッパ留学生

ローマ教皇とも対面している



鹿児島カテドラルザビエル教会

ここも2回目



入口の言葉
スペインに対する風刺か



マリア像



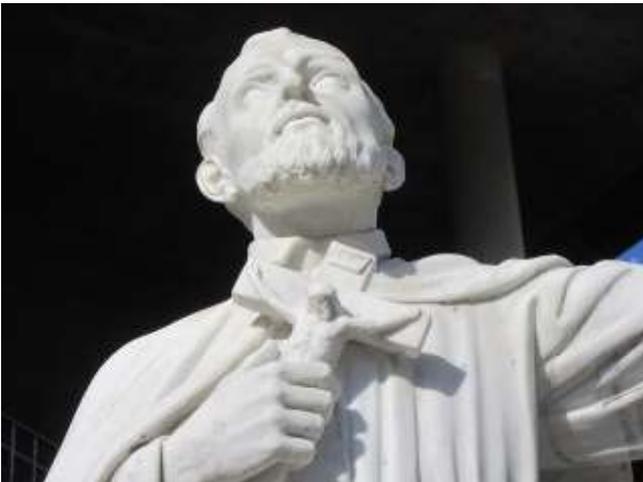
山口のマリア像とよく似ている
この像も目が怖い



ザビエル像



十字架を持って天を仰ぐザビエル



教会内はピンク色

ピンクはザビエルの熱い心、青は海を表しているという



振り返れば大きなパイプオルガン



ザビエルの骨

これはローマジェズ協会のザビエルの右手から分骨
前にも紹介した



中心に白いものが見える



インドゴアのザビエルの棺
これも前に紹介した



ローマジェズ協会のザビエルの右手



キリストの絵



見る角度で顔が変わる



もう一つの言葉



スペイン ハミエル場の「微笑みのキリスト」

1時間ほど話をさせていただく 韓国人宣教師の名刺をお土産にいただいた



ザビエルの研究は中国の「上川島」を訪ねれば終了する

なぜザビエルを追いかけているかは自分でも分からない 何か惹かれるものがあるからだと思う
教会を掃除しているボランティアの方と話をする 私の聞きたかったことは ザビエルはキリスト教
の元となったユダヤ教の研究をしていたのか? なぜ日本滞在(2年3か月)は短かったのか?
答えは「分からない」という また研究を続けるつもりだ

後で気づいたこと 陽を浴びているザビエルの像の胸の部分のピンク
マリア像の写真のピンク 何も細工していないが「ピンクのオーブ」が現れた
ネットで調べると



スピリチャルな世界 今まで写真に白いオーブは現れたが、ピンクは初めて
信じるか、信じないかは、私次第

2030年問題と鹿児島「天文館通り」

2021-03-13 17:07:24

鹿児島 天文館通り



珈琲 マノン

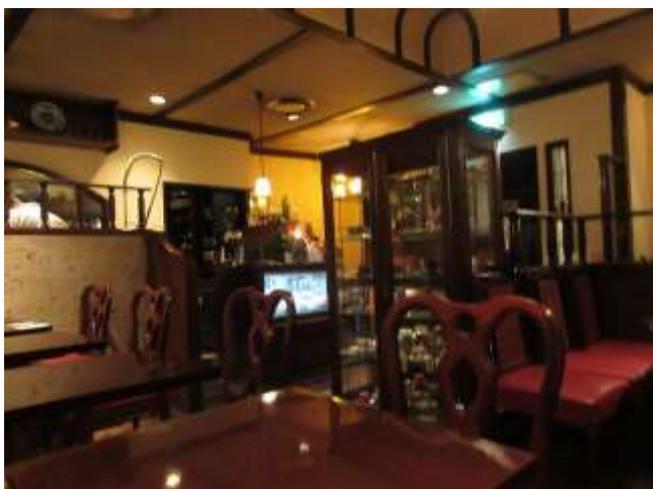


炭火焙煎珈琲

歴史がありそうだが、こうした専門店の数が減ってきているのは残念



店内の様子



代は変わっているが、40年以上の歴史があるという



珍しいトルココーヒーを注文



お湯をコーヒー豆の入った銅製の器に注ぎ、コーヒーかすが沈殿するのを待ち上だけを飲む

エスプレッソのようなコーヒー



コーヒーが下に沈むまで気長に待つ



コーヒーカップに注ぐ
まだ早かった



ハンバーグ



フワフワと柔らかい昔ながらのハンバーグ



看板も古そうだ



天文館通りを進むと鹿児島のお土産店「かご市」



店内



黒豚味噌

ご飯と一緒に食べるとおいしい



まるぼうろ

ポルトガルから伝わったクッキーに近い焼菓子



はちみつせんべい



文旦の砂糖漬け



島どーナつ前に紹介した サーターアンダギーに似た揚げ菓子



魚っち

サラミ風かまぼこ(ケーシング)



パパイヤ漬け



あくまき

もち米を灰汁で炊いたもの

鹿児島では3月から端午の節句まで食べられるという



肉や魚は冷凍



弁当も



次回は近くのデパート山形屋をレポートします

「芋がら」と鹿児島山形屋の鶏専門店

2021-03-18 16:18:44

テーマ: [ブログ](#)

歴史と食のノスタルジー「芋がら」

わりな、ずいきとも呼ばれる 多分名前は聞いたことがあっても、食べたことがない人が多いと思う

芋がらは鎌倉時代から戦国時代にかけて「野戦食」として使われた

陣笠に水を入れて芋がらと味噌を煮込んで味噌汁をつくった

熊本城では、籠城戦に備えて畳の芯として備蓄されていたという話は有名



タイ産徳島加工 40g358円 高級品だ
スーパーマーケットでは殆ど見かけない



芋がらは里芋の茎の部分を乾燥させたもの

食べる人がいなくなったので殆ど捨てられている
子供の頃、雨が降ると傘代わりに使ったな



出典：写真AC

芋がらを食べる 水で芋がらを戻す



少し柔らかくなったら水を絞り適当な長さに切る
3cmくらい



鍋に入れてボイルする



柔らかくなったらザルで水気を切る
食べてみてアクが気になれば水い晒しておく



竹の子(生)、人参、椎茸、油揚げ、調味料(少量)を加えて煮る
芋がら自体はあまり味や香りは強くない
シャキシャキとした食感



味噌汁に入れる

子供の頃はよく食べさせられた

懐かしい味



米沢藩の「糧物(かてもの)」

江戸時代の大飢饉で東北地方は多くの餓死者をだした

米沢藩は米を保存し、「かてもの」を食べることで餓死者を出さなかった

かてものは飢餓などで食料不足で主食を節約するための代用食

これも知っておいて損はないと思う

これは機会を見て米沢に行って調査してきます

鹿児島山形屋

創業 1751 年の鹿児島の老舗デパート

社は「信用第一 顧客本位 あくまでも堅実に」



地下のフロア案内



フルーツギフト



肉売場



ブランド牛肉



加工肉



夕方、何やら行列が
あまり目立つ場所ではないが



一緒に並んでみる



ローストチキンの専門店のような
ロテサリーチキンオープンが見える



鶏だけでなく豚も扱っている
もも焼は売り切れ



美味しそうなのであるものを買ってみた



ローストチキンハーフサイズ



包丁で鋭くカットされている
むね部分はかなり柔らかく、ジューシー
ただし、その分日持ちはあまりしない



鶏もも肉照焼き
もも肉を丸めて焼いているのが珍しい

皮はしっかり焦げ目がついている



裏の部分

軽く糸を巻いているか、ネットに入れているように見える



箸で切れるくらい柔らかい

肉を柔らかく焼けば、皮にあまり火が入らず食感が悪い

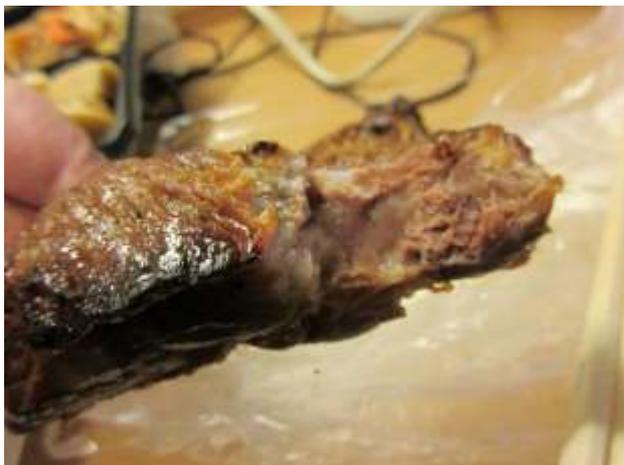
そのため丸めているのではないか



骨付きスペアリブロースト



これはしっかり火が入っている
縮み方を見ればわかる



豚軟骨(パイカ)ロースト

これは珍しい



コラーゲンのシコシコ感がいい

まさにローストを知り尽くしたプロの味と食感
シンプルな料理だけに技術(調味、温度、時間)が必要
勉強になった



ついでに弁当を買って帰ったが、ここにも鶏肉が
鶏地獄に陥った



金生まんじゅう



郷土菓子のようだ



「ありがとう」がいい

これが書かれていておこる人はいない



知覧(ちらん)町茶

知覧はお茶の産地



知覧町産深蒸し茶

なかなか手が出ない



歩いてホテルに帰る途中



榊山、黒田、大いに語る



1858年、大老井伊直弼と、島津斉彬を含む一橋派と激しく対立
「桜田門の変」には薩摩藩士1名加わっている
知人の話だと、その子孫が新宿でバーを経営しているという



バスを待つ像



黒田清輝(せいき)

浴衣を着て団扇を持つ女性の絵は有名
桜島の噴火を描く



次回はスーパーマーケット「ニシムタ」と「イオン」を紹介します

鹿児島駅の「ニシムタ」

路面電車の終点鹿児島駅近くの店

鹿児島県、熊本県、宮崎県のホームセンター、スーパーマーケットを展開する企業

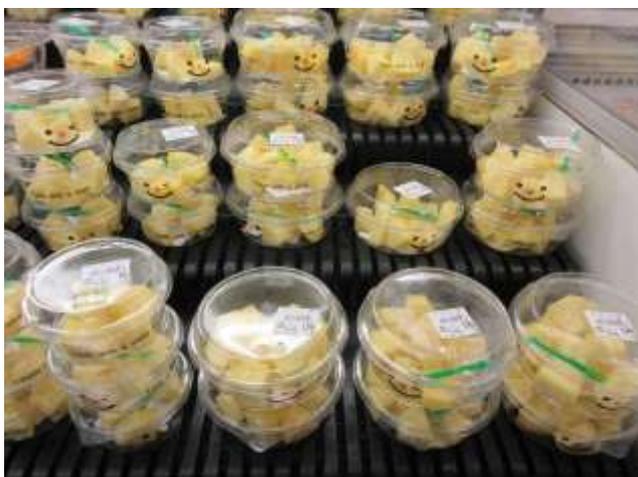
コンセプトは「ニシムタは多様な個人の価値観にお応えします」



くだもの売場



カットパイナップルは、小パック 98 円、大パック 198 円と買いやすい



鮮魚売場

真鯛切身 2切 298 円 大パック 480 円

鯛が安くなっているのもう少し売り込みたい



メジナ このボリュームで 298 円



シマアジ?の切り身塩焼き用 100g55 円

骨付きのカット 塩焼き用



握り寿司 10 貫 498 円

生ネタも入って 498 円は安い 鮮度いい



カナダ産豚肩ロース切り落とし 500g 580 円



国産豚軟骨(パイカ)

九州ではよく食べられている部位



風味揚げ玉 105 円

これはおすすめ



海老の粉末が入った揚げ玉
時間が経ってもパリパリ、サクサクしている



有明鶏のかしわ飯 198 円



佐賀県産骨太有明鶏使用
混ぜご飯の素

かしわ飯の鶏もブランドを指定するようになった



佃煮コーナー



甘口おかか 198 円

ふりかけに最高



惣菜コーナー



インスタ惣菜は見事



中華料理



豚足煮



298 円弁当



高菜チャーハン 298 円

これはもう少し安くしてほしい



周りの相場もあるかもしれないが、ニシムタの商品は総じて安い
いっぱい籠に入れてレジで清算するとクレジットカードが使えない
ポケットの小銭分しか買えなくて残念 現金は持ち歩かないと不便だ

イオン鹿児島中央駅店
駅前のダイエーの跡地



青果売場



文旦 魅力だが大きすぎて買えない アジアのように皮を剥いて小分けしてくれれば買うのだが
柑橘類の薄皮は強アルカリ性、または強酸性で溶ける あまりやる加工業者は少ない



ヨークベニマルで売られていた「皮むき果実」198円 オレンジもグレープフルーツ(レッド、ホワイト)も薄皮が剥かれている そのため皮の苦みを感じない カットフルーツももう少し進化しないと
いけない



チヨレギサラダ 198円 サラダを買うときはいつもこれ



季節の盛合せ 298円



季節の野菜の煮物、和え物の4点盛り

旬の野菜を使ったいい商品だ
別に一人でも食べきる必要はない
蓋をして冷蔵庫に入れておけばいいおかずになる



オードブル 880 円 これはお買得



肉重



ステーキ重 598 円

よく売れている



牛すきやき重 398 円

こちらは安め



健康弁当

アウトパックの商品だ



毎日のごはんをバランスよく

想いやりごはん+ONE 298 円



この内容で 298 円は安い



銀シャリおにぎり 2 個 100 円

99 円だともっと売れると思う



しそわかめおにぎり 2 個 118 円

これもうれしい価格



鹿児島名物「かからんだんご」「けせんだんご」各 260 円
各市域の食文化を調べていると、生菓子に一番特徴が表れる



「かからんだんご」
「かから」という植物の葉に包まれている
小豆、もち粉、上用粉、砂糖の蒸し菓子



「けせんだんご」

「けせん」はニッキ(ニッケ、シナモン)のこと

葉を噛んでみるとニッキの味がする

どちらの葉も殺菌効果あるという



後日、けせんの葉を乾燥させて、お湯を入れると微かにニッキの味がする



次回は知覧を紹介します

特攻が行われた飛行場があった場所

かなり心は重いがここも紹介しておきたい

[知覧「知覧特攻平和会館」](#)

2021-03-23 16:45:10

鹿児島中央駅からバスで知覧(ちらん)へ向かう

興味のある人は読んでみてください



知覧平和公園入口 両側に桜の木



灯籠が並ぶ 公園に行く途中にも 1000 基以上に灯籠が



特攻兵の堀物



知覧特攻平和会館が見えてくる

あまりに重いので簡単に紹介します

私は心が赴くままに、ハワイ、シンガポール、サイパン、テニアン、ロタ、マニラ、マニラ、コレヒドール島、ミャンマー、タイ、クアラルンプール、大連、旅順、青島、南京、沖縄、広島、長崎などの戦跡、資料館巡りをしてきた

知覧を訪れるのは始めてだが、ここを特別視するつもりはない

戦争で家族、国のために亡くなった方々は皆平等だ

興味のある方はご自身でここを訪れてはいかがでしょうか



特攻兵「とこしえに」の像



一式戦闘機「隼」

第二次世界大戦時の大日本帝国陸軍の主力戦闘機



開発は中島飛行機 総生産数は 5700 機



隼に搭載され特攻に使われた250kg爆弾
これを両翼に2基搭載した



「石原慎太郎」制作指揮 映画「僕は、君のためにこそ死んでいく」2007年5月公開
その時の写真 中央にいる女性が「鳥濱トメ」さん 石原さんはトメさんに会い映画化を約束した
隼は九七式戦闘機に次ぐ、120機が飛び立った



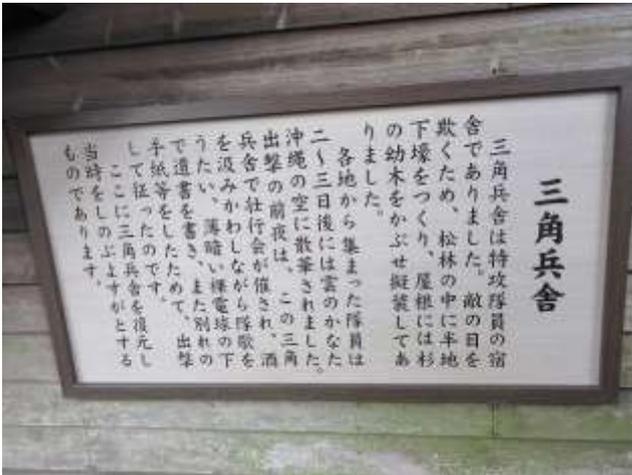
大刀洗陸軍飛行学校知覧分教所の正門





特攻隊員の宿舎

ここで遺書が書かれた



内部



半地下であったため夏は湿気が多かったと思う



当時の写真



接待するのは地元高校生の「なでしこ隊」



館内展示を外から撮影



零式艦上戦闘機

これは海軍の主力戦闘機



入口



館内案内図



土産物屋



知覧産のお茶



知覧のお茶畑



館内の展示



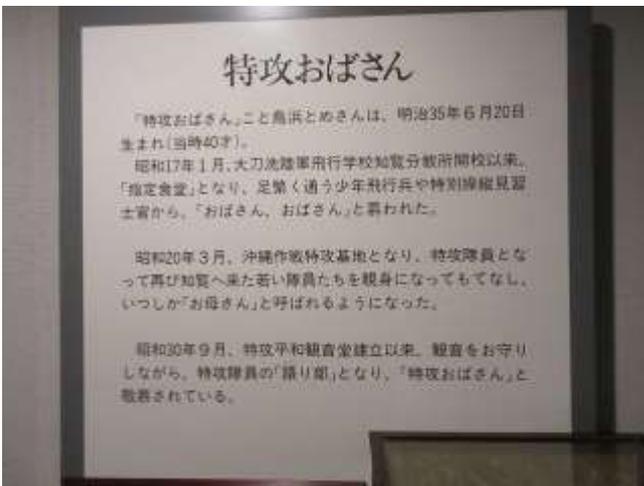
ジオラマ



鳥濱トメさんの軍指定の食堂



特攻のおばさん



思い出



語り部のセミナーを聞く

私が興味があったのは、前にボストンの港で特攻で大破した戦艦「カシンヤング」
特攻した複葉機を尋ねたところ「それは鹿屋の海軍のほうだ」と言われる

翌日は指宿の砂風呂三昧を計画していたが急遽鹿屋に行くことにした

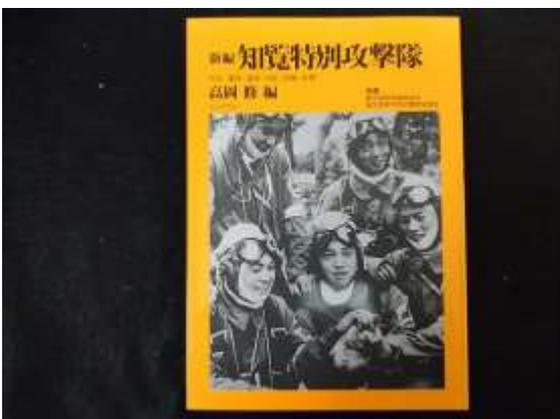


これはよく見る写真 手前がなでしこ隊



館内はプライバシーを配慮して撮影禁止

本を買って人物中心の紹介します「知覧特別攻撃隊」20歳前後の若者ばかり



特攻兵の手紙が主だ

本の中に登場する特攻兵の母 鳥濱トメさん

日本の「マザーテレサ」「ナイチンゲール」のようなすばらしい女性

特攻兵を見送ったばかりでなく、若い進駐軍兵士(進駐軍指定食堂)、戦災孤児まで面倒をみた人

生き残った特攻へに対して発した言葉



沖縄戦における特攻隊

知覧から436機は特攻

沖縄戦における特攻隊(特別攻撃隊)

知覧飛行場が陸軍の最前線特攻基地であった
知覧からは**436機**が特攻

	戦死者	体当りを敢行した機	敵艦に命中した数
陸軍	1,844名	932機	132機
海軍	2,535名	983機	

(昭和20年4月1日～6月11日)
「知覧特別攻撃隊」より

鳥濱トメ『知ってるつもり?!』

「知ってるつもり 鳥濱トメ」ユーチューブ

1時間かかりますが、これは一度見ておいたほうがいいと思います
「おしん」より感動しますよ



二度戦死した特攻兵 阿部正也少将 学芸みらい社



当時の特攻機の燃料は黒い「松根油」
松の根から取った油 ドイツから教わったという
そうした燃料を使っていたためトラブルが多く、墜落したり引き返す特攻機も多かった
阿部正也少尉はエンジントラブルで黒島に不時着
そこには重傷を負った特攻兵がすでにいた
村の若者と一緒に鹿児島に帰り、再度出撃
黒島の上空から薬や現金、キャラメルなどを投下し沖縄へと向かったという事実にも元づく話

黒島は三島村と書かれた左の小さな島
沖縄に向かうルート
映画「永遠のゼロ」にも似たような話がある



赤い山茶花



白い山茶花

隼ラーメン



敷地内にあるラーメン屋



豚骨をメインに鶏ガラ、野菜を煮込んだスープが特徴
麺は和らかめのストレート



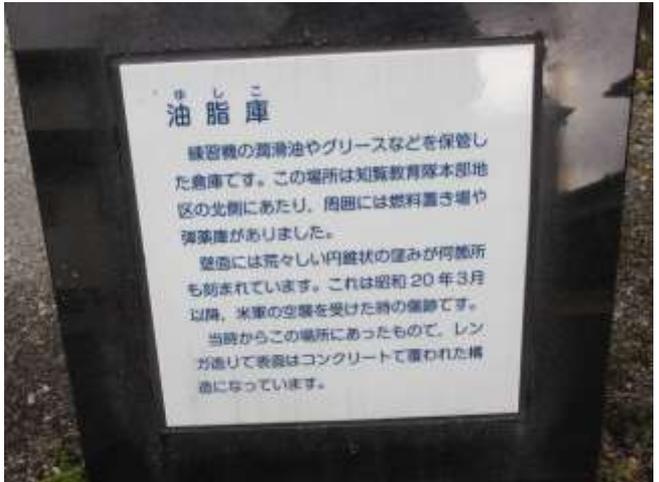
知覧の戦跡をめぐる
知覧教育機関関係施設群



旧知覧飛行場油脂庫



説明文



弾薬庫



分厚いコンクリートできている



説明文



知覧飛行場正門跡



説明文



給水塔



説明文



給水塔

昭和16年、飛行学校の一つの施設として建設され、当時の原型をとどめている唯一の施設です。下郷を流れる豊川から取水しポンプで、高圧式のタンクに貯水しました。

主に飲料水や飛行機の整備のための水に利用されました。

高さ約13m、直径約6mで町指定文化財となっています。

防火水槽跡

水が減っても階段で降りれるようになっている



説明文



ぼう せ すい そう あと 防火水槽跡

現在1基しか残っていません。4基ほどあったと伝えられています。近くに本館があったため本部用の防火水槽と予想されます。半地下式で、お構内に地盤を掘り、砂利を敷きその上をコンクリートで固めてあります。鉄筋も入っていない簡単な構造です。三箇所につけられた階段は、水の汲み出しと管理のためとされています。現在の場所から東南約100mのところにあった物を平成16年度に移設しました。

駐車場に戻りタクシーで市内に向かう

バスもあるが本数が少ないため

知覧茶の売店



のどが渇くと水を飲み
心の潤いにお茶を啜む
喫茶とは茶を飲むこと



知覧町
かつて知覧には鉄道の駅があった



次回は、トメさんの食堂から武家屋敷、英国館をレポートします

知覧の武家屋敷と英国館

2021-03-26 17:00:37

知覧市内へタクシーで向かう バスはあるが本数が少ない



知覧「富屋食堂」(復元)

トメさんの食堂



当時のままを復元 特攻兵も進駐軍も通った食堂



当時のメニュー

何か食べられるかと思ったが中は資料館



当時の弁当箱

上に重なるようになっている



トメの使っていた車椅子



ビデオ室



トメの言葉が手ぬぐいに書かれている

『なぜ生きのこったのか 考えなさい』

何か あなたに しなければ ならない ことがあって 生かされたのだから』

富屋食堂 特攻の母 鳥濱トメ 重い言葉だ 命を大切にしましょう



薩摩の小京都武家屋敷に向かう

江戸時代薩摩藩は、領地を外城と呼ばれる102の地区に分けて武家集落をつくっていた



案内図

道の両側に武家屋敷と庭が保存されている

270年前の7つの武家屋敷が今公開されている



キレイに整備されている道路

ここは江戸時代にタイムスリップした感じだ 観光客が少ないため独り占め



門の奥には石の塀 防御のための施設だ これはどこの屋敷も共通している



説明文



庭の大きさはどこも同じで各屋敷が個性を生かしている
枯山水の庭



平山氏の屋敷



説明文



ツツジを主に使っている奥の山もうまく利用
縁側に座って景色を楽しむ



ここも平山氏



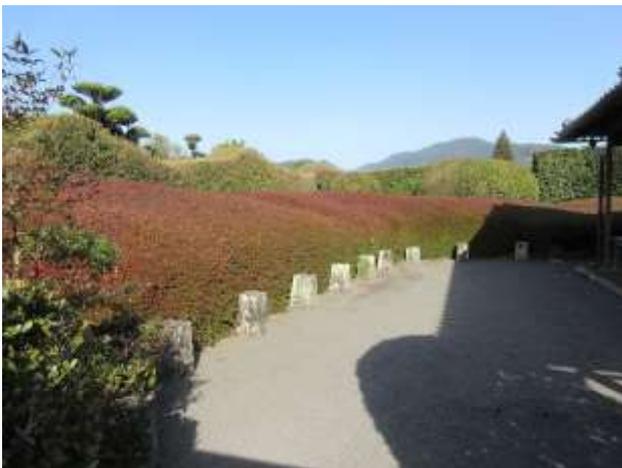
説明文



今は住んでいないようだがキチンと管理されている
屋敷のつくりはどこも似ている



曲線を使った庭
手前の石は盆栽を置く場所

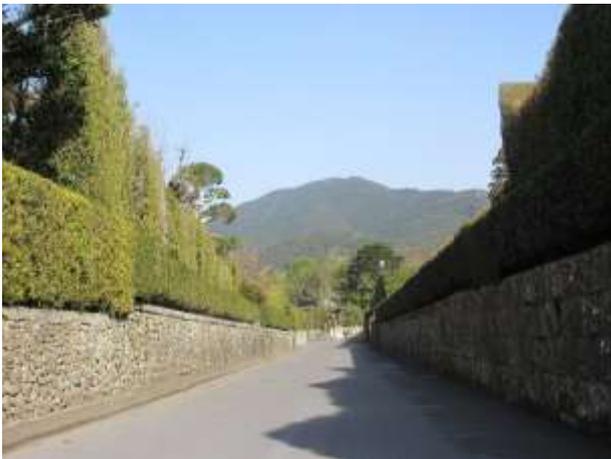


曲線の奥に山



さらに進む

ゴミ一つ、葉っぱ一つ落ちていない



T字路の突き当りに石

この先は知覧城があった小山がある

時間がなく行くことはできなかった

城が無ければ武家屋敷は存在しない



石敢当

石をくり抜くことで魔除けになっている



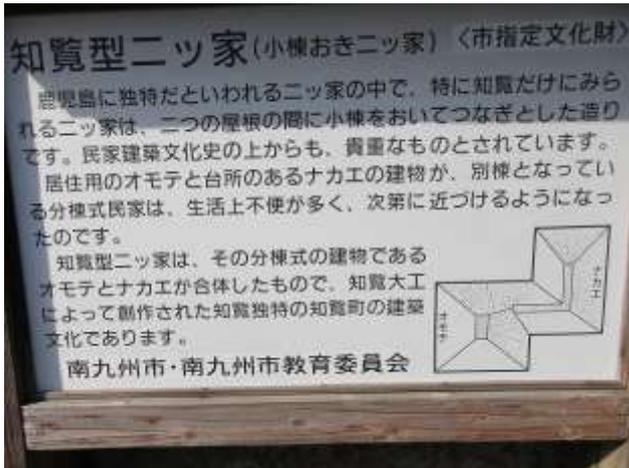
奥は稽古所跡



知覧型ニツ家



知覧大工によって創作された建築だ



上皇の写真

これは江戸時代のものではないが、明治、大正、昭和と家に写真を飾る家もあった



囲炉裏の薪の火は本物

これも観光客のためのおもてなし



橋を渡り英国館へ向かう

武家屋敷は堀代わりの川で守られている

川を渡れば城外



洋風の建物が
英国館 鹿児島と英国との歴史も展示



ロンドンの二階建てバス



中は客室になっている



ここは個人が経営している施設



イギリスの焼き物



知覧紅茶

お茶が採れるところはよい紅茶もできる

イギリスで数々の賞を獲得している

2020年、英国グレートテースト・アワードに4種の紅茶をを出品し、

全て2つ星金賞を受賞

日本よりイギリスの方が有名らしい



手づくり紅茶



アフタヌーンティーは予約制

スコーンとチーズケーキを注文

紅茶はせっかくなので最高級の茶葉を注文

紅茶メニューの最初にダーズリンティー(イギリスに気を使ってか)

「知覧紅茶が上にあった方がいい」と余計なことを言う



紅茶のことはよくわからないが、これは香りも高くおいしい



バイクドチーズケーキ
お皿にデザインもいい



スコーン



クローテッドクリームは自家製のような
イギリスのスコーンそのまま
オーナーはイギリスに長く住んでいたらしい
ジャムは瓶入りのもの 残りは持ち帰る



食器は「MARIKO LONDON」と書かれている特注品



英国館を後にして近くのバス停からバスに乗り市内に向かう



途中の景色



知覧は十分日帰りできる所

GO TO も始まりそうですから一度行かれたらどうでしょう

次回は、鹿屋(かのや)の海上自衛隊資料館をレポートします

[鹿兒島「鹿屋\(かのや\)航空基地史料館」](#)

2021-03-30 16:55:50

鹿兒島特集最終編 鹿兒島駅の鹿屋行きバス停



路線バスだがフェリーに乗る



中央駅のある薩摩半島から大隅半島までフェリーで向かう(青い線)

バスごとフェリーに乗るので、乗り換えなしで「鹿屋航空基地史料館」まで行くことができる



天気がいいので桜島がよく見える



噴火の状態



名物のうどん

早く注文しないと到着してしまう



わかめうどん

さつま揚げが入っている うどんは柔らかめ



バスは海上自衛隊前の停留所に止まる
海上自衛隊発祥の地



現役の航空基地
歩いて資料館へ向かう 少し緊張する



旧型の飛行機が何機も展示されている
アナログの飛行機は古いため機密情報は少ないためだ



案内図



鹿屋会議 日米開戦のための会議

山本五十六は戦争に反対していたが、真珠湾攻撃は山本が提言
アメリカの喧嘩を売った人物

詳しくは長岡の「山本五十六記念館」の特集で



ゼロ戦のレプリカ



階段を登り操縦室が見えるようになっている
映画「永遠の0」にも使われた



主翼のフラップ(期待を上下させるもの)
「上は金属だが、裏側は布製である」とスタッフが教えてくれた 許可を得て指ではじいてみると太鼓のような音ができる さらに「松根油」の現物を見せてくれた 真っ黒だ これでよく飛行機が飛んだものだ



尾翼のフラップの裏側も同じだ
重量を減らすために布を使ったという



現在使われている練習用機材



赤とんぼ特攻 知覧で聞いた「あかとんぼ特攻」について 第一次世界大戦の代物だ

**神風特別攻撃隊第三竜虎隊 九三式
中間操縦練習機（通称：赤とんぼ）**



Photo:小名木善行 ねずさんの ひとりごと
より

詳しくは

沖縄翼友会「最後の特攻「赤トンボ」の戦い

https://okinawa-yokuyukai.org/data/rekisi_003.html

アメリカ ポストンの港に係留されている戦艦「カシンヤング」



スタッフに何処に衝突したが聞くと

中央部分のスタッフ(写真の中心部分)が指している場所が、2基の赤とんぼが特攻した部分だ
という

偶然にも雲がかかったように見える



パンフレットにも記載されている

これは請求しないともらえない



特攻の記事

1945年7月30日 沖縄戦のKAMIKAZE特攻で21人が亡くなったと書かれている



知覧で「複葉機は海軍であるため、海軍で聞いてみて」と言われた

男性スタッフに聞いても分からない

無駄足か？

すると、受け付けの女性が「三上弘さんの展示はありますよ」と場所を教えてくれた

三上弘 上飛曹の展示

何か縁があり気になっていた

ボストンからの点と点が線で繋がった

聞かなければ分からなかったこと

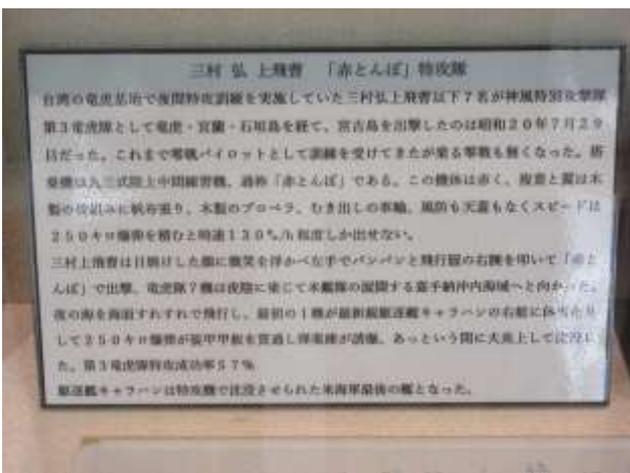


最後の特攻と聞いていたので、教官だと思っていたが 20 歳の若者であった



説明文

最後の特攻でキャラハンは沈没 カシヤングもダメージを受けた



「魂のさけび」

鹿屋基地からの海軍戦没者 908 名 陸軍知覧 439 名、海軍国分 427 名、海軍赤江 385 名、海軍串良 363 名 圧倒的に海軍が多かった

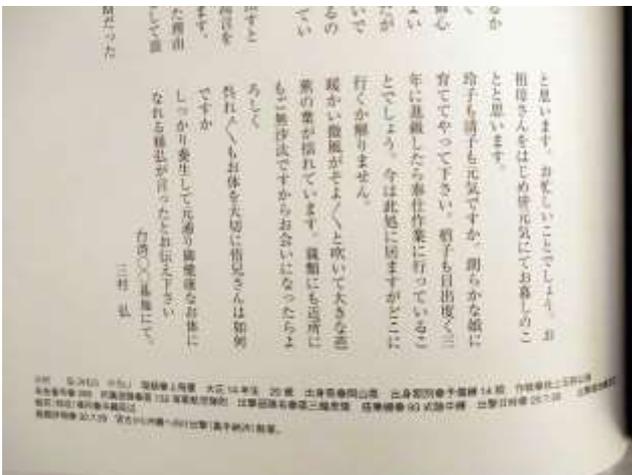


受付の女性は「三上さんも載っていますよ」と上の本を紹介してくれた
三上弘さんの直筆の手紙が載っている



台湾の基地から手紙を書いている 三上弘 20歳 出身岡山県 予備練 14期 作戦 地上玉砕
以降後 部隊名 第三龍虎隊 戦闘情報 20年7月29日 宮古島から沖縄へ向けて出撃(嘉手
納沖)散花

日本にはもう特攻に使う航空機が無かったため、練習用の複葉機を特攻に使った



史料館から別館へ



入口を入ると

「永遠の0」の撮影に使われたゼロ戦



操縦室

計器はむき出し、特攻機には機銃がつけられていなかった
攻撃されても応戦ができない



百田からのメッセージ



レストランで海軍カレーを注文



外を見ながら



海軍カレーのレシピそのままという
ヤクルトがうれしい



鹿屋サイダー



案内所



土産物



海軍カレー



かるかん



水兵さんの乾パン



焼き芋



生姜菓子
これはおすすめ



バスに乗り鹿児島市内に戻る
ここも十分日帰りできるところ
知覧とセットで観光するとよい



帰りのフェリー



鹿児島で一泊して、翌夕方羽田空港に向かう
夕焼けでピンクに映る主翼 必死で写真を撮っているとCAが「キレイですね」と声をかけてくれる



日没



羽田が近づいてきた



無事帰京

鹿児島の特集はこれで終わり

砂風呂は行けなかったが鹿屋に行ってよかった

西郷隆盛、明治維新、戊辰戦争の研究は続けます

次回は白河の「白河口戦い」から会津をレポートします

西郷隆盛と西郷頼母(会津藩家老)は会っていたのか？

さらに、長岡、酒田、二本松も訪れるつもりだ